



## プラチナ構想ネットワーク

<http://www.platinum-network.jp/>

# 未来のあるべき社会像「プラチナ社会」の実現を

20世紀、私たちは物質的な豊かさと長寿を求めて、ひた走ってきました。衣食住に欠けることなく、自動車の普及や新幹線や航空便の整備により移動の自由がもたらされ、私たちは住む場所も働く場所も自由に選択できるようになりました。かつては、限られた人に占有されていた情報も、いつでもどこでも、誰でも自由に得られます。そして、わが国の平均寿命は世界一であり、世界全体でも平均寿命は70歳を超え、長寿という、人類の長年の夢さえも実現しつつあります。

これから私たちが築いていくべき社会は、どのようなものでしょうか。すでに手に入れた物質的な豊かさや長寿を維持したうえで、より質の高い人生や生活、つまり、より良いクオリティ・オブ・ライフ(QOL)を楽しめるような快適な社会でしょう。そうした社会を「プラチナ社会」と定義します。

資源自給、低炭素化、公害克服と自然共生、健康で社会参加の機会にめぐまれ成長し続けられる長い生涯、新産業の創造と雇用の創出…。これらは、多くの人が合意しうる共通的な質であり、プラチナ社会の必要条件ですが、同時に、解決すべき課題であるともいえます。

文明によって得られた自由を存分に活用して課題を解決し、その先にあるプラチナ社会に向かって、進んでいくではありませんか。

## 「プラチナ社会」とは

### エコロジーで

人間にとって快適な自然環境の再構築、  
環境との調和・共存

### 資源の心配がなく

エネルギー効率の向上、自然エネルギー活用、  
物質循環システムの構築

### 老若男女が全員参加

生涯を通じた成長、社会参加の機会創造、  
健康で安心して加齢できる社会

### 心もモノも豊かで

文化・芸術に彩られた暮らし、  
飽和・停滞を打破する「限界を超えた成長」

### 雇用がある社会

イノベーションによる新産業の創出

ecology

work

sustainable

# 目指して



*energy*

*Innovation*

*diversity*

## ご挨拶

日本は、環境問題、急激に進む高齢化などの課題をいち早く経験する「課題先進国」ですが、我々はむしろ日本が再生・成長するためのチャンスと捉えるべきだと考えています。

今こそ、「課題先進国」の強みを活かし、他に先駆けて新たな経済活動を創造し、技術力と文化的想像力で「課題解決先進国」となることが求められているのです。

大事なことは、地域の持つ力で対応し、暮らしを良くしようとすることです。そこに需要が生まれ、産業が起き、経済活動が活発になります。そのようなきっかけを作る核となり、日本中にエコで、高齢者も参加でき、地域で人が育ち、雇用のある、快適なまちづくりを進めていく国民的運動が「プラチナ構想ネットワーク」です。

自治体、大学・研究機関、企業そして海外都市がネットワークで結びつくことで、これまで個々別々に行われてきたプロジェクトに、知識・情報、ものづくり・流通など多くの側面でスケールメリットと新たな価値の創造がもたらされます。

すでにプラチナ社会を実現していくための組織やプロジェクトが立ち上がっています。2010年8月に設立した当ネットワークではそうした取組と連携しつつ、本理念の実現に向けて啓発活動を展開していきます。



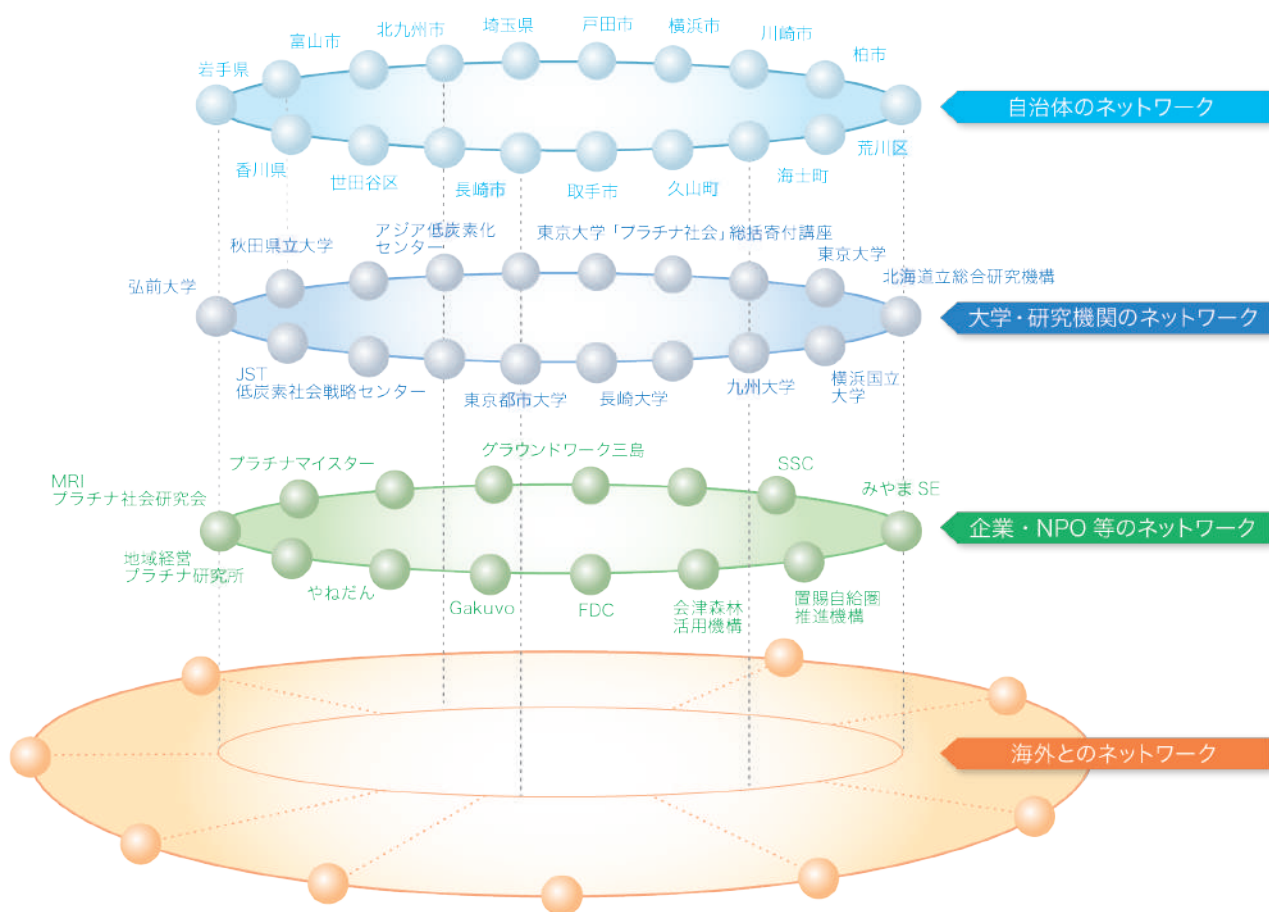
小宮山 宏

Hiroshi Komiya

プラチナ構想ネットワーク 会長  
株式会社三菱総合研究所 理事長  
東京大学 第28代総長

# 日本の「知」を結集し、新しいまちづくりを提案する 全国規模の連携組織

「プラチナ構想ネットワーク」は東京大学 第28代総長の小宮山宏が会長を務める任意団体です。  
エコで、高齢者も参加でき、地域で人が育ち、雇用のある、快適な社会づくりを進める全国規模の連携組織です。  
プラチナ社会実現のための政策的課題の解決策を、政界・産業界・市民に広く発信し、行動を促すことを  
目的としています。



自治体・大学・研究機関・企業・海外都市をネットワークで結ぶことで、  
知識と情報・ものづくり・流通などの幅広い分野において、  
スケールメリットと新たな価値創出をもたらします。

設立 2010年8月

会員数 (2020年4月)

・法人会員	79名
・自治体会員	
首長(知事・市長・町長・村長)	178名
・ベンチャー企業会員	24名
・特別会員	73名
・海外会員	7名
合計	361名

## 活動テーマと主な活動内容

### 1 理念の 形成普及 P5～P8

プラチナ懇談会 ..... P5  
プラチナイブニングセミナー ..... P6

シンポジウム ..... P6  
プラチナ大賞 ..... P7

広く社会に発信することでプラチナ社会の普及と実現を目指します

「プラチナ懇談会」は自治体首長と企業経営者が自由に意見を交わす場、「シンポジウム」は自治体や企業における先進的な取組を発表する場として開催しています。

また、「プラチナイブニングセミナー」は平日夜間に開催、多くの会員および会員以外の方にも聴講いただいています。「プラチナ大賞」は全国の自治体や企業の取組を授賞をもって称え、その活動を社会に広く発信しています。

### 2 人財育成 P9～P14

プラチナ構想スクール ..... P9  
プラチナ未来人財育成塾 ..... P13

プラチナ保健師プロジェクト ..... P12

人財育成とネットワーク形成のための様々なスクールを展開しています

「プラチナ構想スクール」では自治体が抱える課題に対し、幅広いカリキュラムと講師陣を用意。自治体職員の認識力や解決力を育成します。「プラチナ保健師プロジェクト」では、保健師・看護学生が先進的な取組の現場での学びや職場を体験。職能を伸ばすとともに意識の高い人財育成を目指します。「プラチナ未来人財育成塾」では、中学生が国内外で活躍する講師陣と直接接することで、未来を考え夢を描き、協調して課題解決を図るリーダーとしての資質を養います。

### 3 社会実装 P15～P18, P26

ワーキンググループ(WG)・プロジェクト(PJ) ..... P15  
プラチナ構想ハンドブック ..... P26

イノベーション実装に向けた様々な活動を展開しています

プラチナ社会の実現に向けての課題を幾つかのテーマに絞り、調査・議論・視察を行うためのワーキンググループやプロジェクトを編成。実質的な活動を進めています。

『プラチナ構想ハンドブック』は、全国の先進事例を収集し整理したものです。事例の成功要因を探るとともに、他の自治体へ展開できる仕組み(システム)を提供しています。

#### 2020年 事業開催予定

事業	開催日・回数等
総会	2020年10月22日
プラチナ大賞	2020年10月22日
プラチナ懇談会	年間 10 回開催
シンポジウム	2021年2月18日
プラチナイブニングセミナー	年間 4、5回開催
プラチナ構想スクール	第13期 2020年6月開講
プラチナ未来人財育成塾@二子玉川	2020年8月16日～20日
水素活用 WG	年間 2、3回開催
プラチナ未来スクール	長崎他全国5か所で通年開催

## 1 理念の形成普及

# プラチナ社会実現のための ビジョンを広く発信していく

プラチナ社会を実現するには、私たち一人ひとりが動き出す必要があります。プラチナ社会を目指す人々が連携して前へ進むため、各自治体・企業の取組やビジョンを紹介するとともに、具体的なアクションへの理解・浸透を図っていきます。



アイデア・意見交換の場

### プラチナ懇談会

対象：会員本人

会員ご本人である自治体首長、企業経営者や活動をされる皆様が、地域の課題やソリューションに繋がるアイデアなどについて自由に意見を交わす場。少人数で飲食しながら定期的に開催しています。毎回小宮山会長も出席して、講演会や現地視察を行うなど、当会と地域との連携を深めるきっかけにもなっています。



#### 開催概要

「自由討議」または「テーマ設定」／年 10 回開催

#### 開催場所

東京および地方

(これまでの開催:二戸市、仙台市、富山市、三島市、名古屋市、大阪市、広島市、北九州市、福岡市 ほか)



#### 〈開催履歴〉

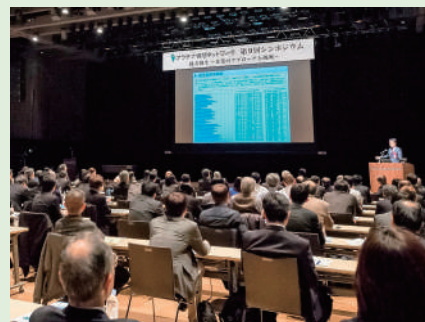
- 第 97 回 2019 年 7 月 10 日(水) 大阪開催  
【自由討議】世界経済フォーラム、ごみ処理問題、一次産業、地方の人口減少など
- 第 98 回 2019 年 9 月 18 日(水) 東京開催  
【自由討議】環境問題、木造建築 CLT 工法、海洋プラスチック汚染、新しい塗料技術など
- 第 99 回 2019 年 10 月 15 日(火) 福岡開催  
【テーマ】行動変容を促す健康経営に関する意見交換
- 第 100 回 2019 年 11 月 20 日(水) 広島開催  
【テーマ】広島でのプラチナ社会の実現に関する意見交換
- 第 101 回 2020 年 1 月 28 日(火) 東京開催  
【プラチナ懇談会 100 回記念特別イベント】  
講演テーマ「ビッグデータで世界が注目する健康イノベーション」、体験型健診、賀詞交換会
- 第 102 回 2020 年 2 月 6 日(木) 名古屋開催  
【自由討議】「コネクティッド・シティ」プロジェクト、街づくり、SDGs 未来都市、環境エネルギーなど

先進的取組を発信

## シンポジウム

対象：会員／一般

様々な団体による取組の目覚ましい成果や最新情報の提供、会員とのリレーション構築、プラチナ社会の実証フィールドの形成などを目的としてシンポジウムを開催しています。毎回、プラチナ社会実現にふさわしいテーマを設け、全国の自治体や企業の先進的な取組を発信します。



## 〈開催履歴〉

- 第12回「日本創生 よみがえれ!! 森林資源大国日本!!  
～森林資源のフル活用で地域に新産業を創る～」  
2019年2月25日(月) 都市センターホテル(東京都千代田区)  
【基調講演】「林業・木材産業の展開方向」 末松 広行氏(農林水産事務次官)  
【講演】「森林資源のフル活用 会津13市町村の挑戦」  
渡部 一也氏(会津森林活用機構株式会社 取締役)  
「『里山資本主義』真庭の挑戦 ～地域資源循環と交流観光で未来の暮らしを創る『バイオマス産業都市「真庭」』～」 太田 昇氏(真庭市長)  
「先進技術の導入と国産材安定供給体制の構築 ～あらゆるリソースの林業への活用～」  
岡田 広行氏(住友林業株式会社 資源環境本部 山林部 グループマネージャー)  
【パネルディスカッション】  
コーディネーター 高田 克彦氏(秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授)  
パネリスト 渡部氏、太田氏、岡田氏、猪島 康浩氏(林野庁 林政部 木材産業課長)
- 第11回「日本創生 『多世代インクルージョン』が日本を元気にする  
～アクティブシニアと現役世代のコラボで創るプラチナ社会～」
- 第10回「地方創生 人とICTでつなぐオープンな地域経済」



第12回シンポジウム

各地の優れた社会事業を学ぶ

## プラチナイブニングセミナー

対象：会員／一般

優れた社会事業活動を進める当事者による講演を聴き、その事例や意見交換を通じて、地域課題とその解決策を学ぶ場です。



開催日 平日 16:00 ～ 18:30

開催場所 イトーキ東京イノベーションセンター SYNQA  
(東京都中央区) など

第15回



第16回



第17回



第18回

## 〈開催履歴〉

- 第15回 2019年4月26日(金)  
「ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)を活用した社会課題解決 ～糖尿病性腎症重症化予防事業に対する取組～」  
上遠野 宏氏(株式会社三井住友銀行 成長産業クラスター 業務開発グループ長)
- 第16回 2019年6月25日(火)  
「若手女性職人たちによる地方の魅力づくり」  
梶浦 明日香氏(伊勢根付職人 東海若手女性職人グループ 凛九 代表)
- 第17回 2019年9月26日(木)  
「歴史的資源を活用した観光まちづくり」  
他力野 淳氏(バリューマネジメント株式会社 代表取締役)
- 第18回 2020年1月21日(火)  
「津軽海峡をつないだ女たちのまちおこし」  
島 康子氏(津軽海峡マグロ女子会 青森側とりまとめ役・Yプロジェクト株式会社 代表取締役)  
杉本 夏子氏(津軽海峡マグロ女子会 北海道側とりまとめ役・温泉旅館矢野 代表取締役社長兼女将)

プラチナ社会を示す

## プラチナ大賞

対象：会員／一般

「プラチナ大賞」は、豊かで快適な「プラチナ社会」のモデルを示すことを目的に創設されました。

イノベーションによる新産業の創出や、アイデアあふれる方策によって地域の課題を解決し、「プラチナ社会」の目指す姿を体現している、または実現しようとしている全国各地の取組を「賞」というかたちで称えます。また、その取組を広く社会に発信することを通じて、「プラチナ社会」実現に向けたビジョンや具体的なアクションへの理解・浸透を図っていきます。

\*第8回 2020年10月22日(木)開催予定(イイノホール&カンファレンスセンター)



### 第7回プラチナ大賞 (2019年11月5日)

後援 総務省、経済産業省、全国知事会、  
全国市長会、全国町村会、特別区長会

審査委員会 (※所属肩書は実施時点 50音順・敬称略)

委員長…吉川 弘之 (元東京大学総長、東京大学 名誉教授、産業技術総合研究所 最高顧問、日本学術振興会 学術最高顧問)

副委員長…秋山 弘子 (東京大学 名誉教授、一般社団法人高齢社会共創センター センター長)

委員…石戸 奈々子 (NPO法人CANVAS 理事長、慶応義塾大学 教授)  
岸本 一朗 (株式会社フジテレビジョン 専務取締役)  
西條 都夫 (株式会社日本経済新聞社 編集委員兼論説委員)  
田中 里沙 (事業構想大学院大学 学長)  
月尾 嘉男 (東京大学 名誉教授)  
西村 幸夫 (神戸芸術工科大学 教授)  
増田 寛也 (東京大学公共政策大学院 客員教授)  
山田 メユミ (株式会社アイスタイル 取締役)



### 第7回(2019年) 受賞団体

賞	受賞団体	タイトル
大賞	総務大臣賞 弘前大学大学院 医学研究科 特任教授 中路重之氏 (プラチナ構想ネットワーク特別会員)、 青森県、弘前市 (青森県)	健康ビッグデータで短命県返上と地域経済活性化の同時実現をめざす 産学官民一体型青森健康イノベーション創出プロジェクト
	経済産業大臣賞 株式会社リクルート 有田市 (和歌山県)	株式会社リクルートと和歌山県有田市との2年間の取り組み (Cheers Agri Project IN ARIDA)
優秀賞	きらり構想賞 一般社団法人熱中学園、更別村 (北海道)、 高森町 (長野県)、琴浦町 (鳥取県)、越知町 (高知県)、小林市 (宮崎県)	郵便の風景印をバージョンアップして地域をつなぐ
	新しい時代のインフラ賞 富谷市 (宮城県)	富谷市低炭素水素プロジェクト ～とみやからはじまる未来の暮らし～
	技術革新賞 株式会社染めQテクノロジー	「全てのモノは劣化する。老朽化＝廃棄 から再生・長寿命化へ」 あるべき社会を求めてイノベーションが時代を超える。
	全員参加の社会づくり賞 清水建設株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社	インクルーシブな社会を実現する「音声ナビゲーション・システム」の普及展開活動
	全員参加の社会づくり賞 一般社団法人 リファイン就労支援センター	今までにない、メンタルヘルス不調に苦しまれたビジネスパーソンへの社会復帰支援 ～病気になる前より、豊かに自分らしく生きていくこと～
	リーディング賞 株式会社イトーキ、鎌倉市 (神奈川県)、特定 非営利活動法人タウンサポート鎌倉今泉台、 一般社団法人高齢社会共創センター	まちの未来を創る『鎌倉リビングラボ』活動 ～超高齢社会にふさわしいワークスタイルと住宅・地域環境創り～
	全員参加の地域づくり賞 浜松市 (静岡県)、京丸園株式会社、 株式会社ひなり	“笑顔”つなぐ はままつの「ユニバーサル農業」 ～どこにも負けない農福企業連携を誘発し続ける仕組みづくり～
	地域人財育成賞 株式会社ストライプインターナショナル	「SDGs 岡山モデル」を世界に発信 ～地方のヒトとモノとコトにプラチナ色の光をあてよう～
	地域パートナーシップ賞 美祿市 (山口県)	全国初のPFI 刑務所「美祿社会復帰促進センター」との「共生のまちづくり」を通じた地方創生
	コミュニティアピール賞 都城市 (宮崎県)	スマート自治体時代の地域活性化戦略 ～デジタル×人で創る新たな社会～
	新しい時代のまちづくり賞 さいたま市 (埼玉県)、株式会社中央 住宅、株式会社高砂建設、株式会社 アキュラホーム	人と人が絆でつながる「スマートシティさいたまモデル」 ～公民学連携のまちづくり～

## プラチナシティ

「プラチナ大賞」において各賞〔大賞、優秀賞、特別賞、審査員特別賞(プラチナ・イノベーション賞)〕を受賞した自治体を、「プラチナシティ」として認定しています。

[2014年より認定開始、現在 50団体を認定]

認定自治体にはプラチナシティマークをご活用  
いただいております。



首長・職員の方  
にご着用いただ  
ける徽章



会見バック  
ボード  
(高知市)



能登半島最先端の  
過疎地域イノベーション  
～真の大学連携が  
過疎地を変える!～  
(珠洲市)



「住民自ら考え行動する」  
住民自治によるまちづくり  
(ニセコ町)



世界に羽ばたく  
グローバル人材の育成  
(埼玉県)



柏市における  
長寿社会のまちづくり  
(柏市)



横浜市と川崎市との  
待機児童対策の  
連携協定  
(川崎市)



『自立×つながり』で  
シニア世代を地域の  
担い手に! 『ミライの  
フツー』な自治モデル  
(豊田市)



とくしまサテライト  
オフィスプロジェクト  
～地域再生のための  
新たな戦略～  
(徳島県)



『らくらく』で、プラス10年  
イキイキ元気! 働く老若男女が  
笑顔で集う町 下市町  
(下市町)



都市間連携を通じた  
アジアのグリーンシティ創造  
(北九州市)



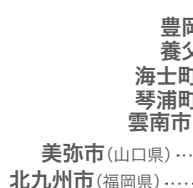
世界をリードする  
香川の希少糖  
(香川県)



魅力ある学校づくり×  
持続可能な島づくり  
～島前高校魅力化  
プロジェクトの挑戦～  
(海士町)



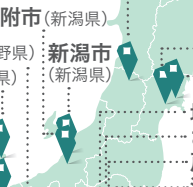
豊岡の挑戦  
～小さな世界都市の  
実現に向けて～  
(豊岡市)



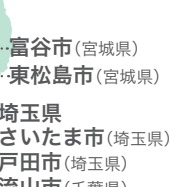
美弥市(山口県) 香川県  
北九州市(福岡県) 久山町(福岡県)  
みやま市(福岡県) 熊本県  
小林市(宮崎県) 都城市(宮崎県)  
西之表市(鹿児島県) 南種子町(鹿児島県)



高知市(高知県) 上勝町(徳島県)  
越知町(高知県) 徳島県  
中種子町(鹿児島県)



見附市(新潟県) 新潟市(新潟県)  
高森町(長野県) 珠洲市(石川県)  
富山市(富山県) 高浜町(福井県)  
豊岡市(兵庫県) 養父市(兵庫県)  
海士町(島根県) 琴浦町(鳥取県)  
雲南市(島根県)



最上町(山形県) 青森県  
更別村(北海道) 二セコ町(北海道)  
富谷市(宮城県) 東松島市(宮城県)  
埼玉県 さいたま市(埼玉県)  
戸田市(埼玉県) 流山市(千葉県)  
取手市(茨城県) 柏市(千葉県)  
荒川区(東京都) 川崎市(神奈川県)  
横浜市(神奈川県) 鎌倉市(神奈川県)



最上町(山形県) 見附市(新潟県) 高森町(長野県) 珠洲市(石川県) 富山市(富山県) 高浜町(福井県) 豊岡市(兵庫県) 養父市(兵庫県) 海士町(島根県) 琴浦町(鳥取県) 雲南市(島根県) 美弥市(山口県) 香川県 北九州市(福岡県) 久山町(福岡県) みやま市(福岡県) 熊本県 小林市(宮崎県) 都城市(宮崎県) 西之表市(鹿児島県) 南種子町(鹿児島県) 高知市(高知県) 上勝町(徳島県) 越知町(高知県) 徳島県 中種子町(鹿児島県)

## 社会課題解決に取り組む先進事例に学ぶツアー

対象：会員

地域において先進的な技術、ノウハウ、創意工夫等により社会課題解決に取り組む先進事例を、実際に現地で、見て、聞いて、意見を交わし学ぶツアーです。

〈開催履歴〉

- 第1回 健幸都市『スマートウェルネスみつけ』ツアー  
2018年7月4日(水)～5日(木) 新潟県見附市



## 2 人財育成

# プラチナ社会を支える 優れた人財を育てていく

自治体職員を対象に課題の認識力・解決力を育成する「プラチナ構想スクール」、世界的研究モデルから学ぶ「プラチナ保健師プロジェクト」、中学生向けの「プラチナ未来人財育成塾」などを開講。

人財育成とネットワーク形成のための様々な活動を展開しています。



課題の認識力・解決力を育成

### プラチナ構想スクール

対象：自治体職員

全国の会員自治体から中堅職員が集まり、全7回(約1か月に1回)を1コースとして開講しています。

「プラチナ社会」実現に向けて解決すべきエネルギー・環境問題、少子高齢化など、課題に対する認識力・解決力やリーダーシップ・マネジメント力など実践的知識の習得を目指します。幅広い人的ネットワーク(最先端・最高レベルの支援リソース)の形成、地域発展の原動力となる人財の育成を目的に、これまでに235名の修了生を輩出しています。

[過去の開催回数:12回]



**開催日程** 約1か月ごとに2日開講(金曜午後、土曜)  
1コース全7回(1年に1コース開講)

**参加者数** 約20名/1期ごと  
(のべ74自治体会員、235名が参加)  
法人会員は聴講が可能

**主な開講場所** 三菱総合研究所 会議室(東京都千代田区)

**受講料** 無料

### 講義カリキュラム

- リーダーシップとマネジメントが地域を変える
- 持続可能な社会へと変える
- 誰もが活躍できる社会へと変える
- 健康・医療で地域を変える
- テクノロジー(AI・ICT)で地域を変える
- 地域を識る
- プラチナ大賞 最終審査発表会・表彰式観覧
- わがまちのプラチナ構想(卒論)

### 講義

首長・研究者・起業家・地域づくりのリーダーなど、各分野の講師が最新の実践的知識を提供。活発な意見交換もあり、講師との交流や連携を深める貴重な機会となっています。



### グループ演習

各地域における認識力、課題解決力の養成を目的に、「高齢者」や「地域」といった様々なテーマで各自治体の事例紹介や課題抽出、意見交換などを実施しています。



### フィールドワーク

地域振興事例の学習並びに地域分析の実施を目的に「地域を識る」というテーマを開講。その一環として課外講義およびフィールドワークを実施しています。



### 「わがまちのプラチナ構想」

最終回には受講生が所属する自治体(地域)で実現可能な実施計画書「わがまちのプラチナ構想」を発表。修了後はリーダーとして、実現に向けた活動を行っていくことを想定しています。



## ■ 講師



東京大学 名誉教授  
一般社団法人高齢社会共創センター センター長  
秋山 弘子氏



特定非営利活動法人CANVAS 理事長  
慶應義塾大学 教授  
石戸 奈々子氏



東京大学公共政策大学院  
客員教授  
増田 寛也氏

### これまでの講師陣（第12期 2019年6月～2020年2月 ※所属肩書は開催時点 50音順・敬称略）

秋山 弘子	東京大学 名誉教授 一般社団法人高齢社会共創センター センター長	野澤 朗	上越市教育委員会 教育長
石戸 奈々子	特定非営利活動法人 CANVAS 理事長、慶應義塾大学 教授	福田 紀彦	川崎市 市長
上田 清司	参議院議員、元埼玉県知事	増田 寛也	東京大学公共政策大学院 客員教授
江口 忠博	一般社団法人 置賜自給圏推進機構 常務理事	松島 克守	一般社団法人俯瞰工学研究所 代表理事
角森 輝美	福岡看護大学 地域・在宅看護部門 教授	松田 智生	株式会社三菱総合研究所 主席研究員
加藤 百合子	株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役	水野 正明	名古屋大学 教授、名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 先端医療・臨床研究支援センター長
菊池 康紀	東京大学 未来ビジョン研究センター 准教授 「プラチナ社会」総括寄付講座 代表	村上 周三	一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長
小宮山 宏	当会会長、東京大学第28代総長	村上 文洋	株式会社三菱総合研究所 主席研究員
関根 秀昭	株式会社ユーディット 代表取締役社長	牟田 学	日本エストニア/EU デジタルソサエティ推進協議会 理事
曾根原 久司	特定非営利活動法人えがおつなげて 代表理事	森 雅志	富山市 市長
田村 隆彦	株式会社三菱総合研究所 主席研究員	山田 英二	株式会社三菱総合研究所 シニアコンサルタント
豊重 哲郎	鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館 館長	山田 興一	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)低炭素 社会戦略センター (LCS) 研究顧問
中谷 幸俊	ITバリューアソシエイツ株式会社 代表取締役	渡辺 豊博	特定非営利活動法人グランドワーク三島 専務理事
中路 重之	弘前大学大学院 医学研究科 特任教授		

### 【第12期プラチナ構想スクール「わがまちのプラチナ構想」テーマ一覧】

- 『鉢ヶ崎プラチナ・ビレッジ』プロジェクト企画書
- 高齢者の孤立対策
- 貨客混載による販路拡大の取組み  
～農畜産物のブランド化を目指して～
- 自転車×通勤＝健康＋安心安全 プロジェクト企画書
- 創業者×空店舗マッチングシステム  
『Kasukabe Base Meet Navi』提案書
- 情報可視化と未来技術による産官学民オープンイノベーションについて
- SNSを利用した外国人が紡ぐ観光事業企画書
- The Sharing Dreams  
～人財共有を活かし、みんなの力で夢を叶えよう！～
- ～自動運転社会が新たな社会を創る～
- 「永遠の日本のふるさと遠野」の実現を目指して  
～株式会社トオノピア（仮称）を核とする循環型地域経済の構築について～
- 30年後も輝き続けるプラチナ社会の構築
- 住民の住民による住民のための協働センタープロジェクト
- 大崎市の観光振興プロジェクト企画書
- 人生100年時代を支える 長野市版CCRC構想
- ～持続可能な地域公共交通のために～
- 市税の徴収における生活改善の支援について
- 北いわて地域内エコシステム構築 プロジェクト企画書
- 「またの名は。」～パラキリかがわプロジェクト～
- 人が集い、絆を深め、まちをつくる 地域情報定期お届け便
- 廃校利活用による子どもたちの居場所づくり



「わがまちのプラチナ構想」発表



「わがまちのプラチナ構想」発表



講評

## プラチナ構想スクール@【自治体】

対象：自治体職員

プラチナ構想スクール修了生からの要請に応え、自治体職員や市民を対象として開催しています。  
当会では著名な講師陣の手配や演習ノウハウなどを提供。  
その地域の課題を抽出し、要望に合わせて解決に向けた具体的なカリキュラム、開催形式を検討します。



### ① ワークショップ形式

実施自治体：豊田市 埼玉県 取手市

地域課題に沿ったテーマをもとに、第一線で活躍する方を講師に招いて講演や演習を開催。  
グループワークを通じて政策を立案したのち、首長や自治体幹部を前に企画提案が発表されました。



埼玉県



取手市

### ② セミナー形式

実施自治体：中野区 浜松市 葛飾区

プラチナ構想スクールの講師が地域に足を運び、「超高齢社会の地域活性化」「長寿社会のまちづくり」など、毎回異なるテーマの講演を開催しました。  
自治体職員約 50 ～ 60 名が聴講。質疑応答後も活発に講師に質問する姿が見られました。



中野区



葛飾区

### ③ 市民参加形式

実施自治体：東松島市 足利市 戸田市

自治体職員から市民へと門戸を開き、地域力の向上や市民による地域の活性化などを目的として開催しました。  
このスクールに参加することで、すでに地域づくり活動に参加している職員や市民はそのモチベーションをさらに高め、興味はあっても二の足を踏んでいる職員や市民は活動に飛び込む熱意を育むことができます。さらには、活動自体にあまり興味を持っていない職員や市民が地域づくり活動に興味や関心を持ち、自立的な活動ができるよう考え、行動するきっかけとなることを目指しています。



東松島市



足利市

## プラチナ保健師プロジェクト

対象：保健師・事務職・看護学生

保健師・事務職・看護学生を対象に、疫学研究において50年以上の歴史がある久山町の取組を未来の保健活動のモデルとして、保健活動の現場を体験しながら学ぶ合宿研修を開催しています。現地で活躍している保健師が住民と行う保健活動について学び、他の地域において当該保健活動の横展開を図ります。また、未来の保健師を目指す看護学生が優れた保健活動を現場で体験することにより、職能教育を行うとともに意識の高い人財の育成を図ります。



### 実施プログラム（計3日間開催）

- 講義 「久山町研究と健診成果」  
清原 裕氏（久山町ヘルスC&Cセンター長、九州大学 名誉教授）
- 講義 「久山町における官学共同の保健事業」  
持松 可奈子氏（久山町役場 健康福祉課、保健師）
- 久山町生活習慣病予防健診見学
- 講義 「保健活動の展開」  
角森 輝美氏（福岡看護大学 地域・在宅看護部門 教授、元久山町保健師）
- 講義 「健診データを活用した保健師活動」  
吉田 大悟氏（九州大学大学院 医学部研究院 衛生・公衆衛生学分野 助教、久山町 研究室保健師）
- 講義 「行動変容とツールを活用した保健指導」  
吉田 大悟氏
- 久山町住民、久山町役場職員との交流
- 合宿形式による参加者間の意見交換

### 〈開催履歴〉

- 平成29年度プラチナ保健師プロジェクト  
2017年7月21日(金)、12月9日(土)、  
12月10日(日)
  - 平成30年度プラチナ保健師プロジェクト  
2018年9月7日(金)～9日(土)、  
12月8日(日)
  - 平成31年度プラチナ保健師プロジェクト  
2019年9月6日(金)～8日(日)
- 開催場所…久山町ヘルスC&Cセンター  
(福岡県糟屋郡) ほか



## プラチナ構想スクール修了生に対するフォローアップ

「プラチナ社会」実現に向けた所属自治体内外での積極的な活動を修了生に実践していただくため、「プラチナ構想スクール修了生アフターミーティング」を毎年開催しています。

### 〈直近の開催〉

- 第5回プラチナ構想スクール修了生アフターミーティング  
開催日…2018年11月2日(金)  
開催場所…三菱総合研究所 会議室(東京都千代田区)

### 実施プログラム

- 開会
- 会長挨拶 プラチナ構想スクール修了生への期待  
～プラチナ社会の実現に向けて～  
プラチナ構想ネットワーク 会長 小宮山 宏
- 基調講演 「課題解決の糸口を学ぶ」  
～N-NOSE 開発にみるイノベーション発想～  
広津 崇亮氏(株式会社HIROTSU バイオサイエンス 代表取締役)
- 修了生近況報告 ● グループワーク、発表
- 講師からのコメント 小宮山 宏、松島 克守氏 ● 交流会



グループワークの様子



講師コメント

对象：中学生

参 加 者…中学生72名(1年生～3年生) ※全国19都道府県より参加

**求東の私シート** このシートは個人で使ってください。記入の際は、自分の名前を記入してください。

自分の名前：  どのくらい「どんなこと」をしようと思っていますか？  
 今の生活の中で「どんなこと」をしようと思っていますか？    
 「MEET」を通じて「どんなこと」をしようと思っていますか？  
 自分が「どんなこと」をしようと思っていますか？

どんなこと

どのような活動・目標

おぎ

名前	年齢	所属	担当
----	----	----	----

[illegible]

読後感振り返シート		期号
読者の名前		
読了した作品の題名・著者名を記入してください		
<p>読了した作品の感想・気づきなどを記入してください</p>		
読後感振り返シート	読者の名前	期号

[illegible]

The image shows three pages of handwritten Japanese grammar notes. The left page, titled 'A 文法 (1) 1. 動詞', defines verb types (Action, State, etc.) and lists conjugation rules. The middle page, titled '2. 動詞の活用', shows conjugation tables for Group 1 and Group 2 verbs. The right page, titled '3. 動詞の活用', discusses the 'て' form and 'た' form, including a section on 'て' form + たら'.

13

## これまでの講師陣 (2013～2019年 ※所属肩書は開催時点 50音順・敬称略)

明石 康	元国際連合事務次長	ジュリア・ロングボトム	駐日英国公使
秋山 浩保	柏市長	鈴木 康友	浜松市長
天野 浩	2014年ノーベル物理学賞受賞 名古屋大学大学院 教授	為末 大	元陸上競技選手
安藤 忠雄	建築家	丹呉 泰健	日本たばこ産業株式会社 取締役会長 元財務省事務次官
片岡 一則	公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター センター長	徳川 恒孝	徳川宗家 18 代当主
梶田 隆章	2015年ノーベル物理学賞受賞 東京大学宇宙線研究所 所長	中竹 竜二	日本ラグビーフットボール協会 コーチングディレクター
金丸 恭文	フューチャー株式会社 代表取締役会長兼社長 グループ CEO	永山 治	中外製薬株式会社 代表取締役会長
菊池 康紀	東京大学 未来ビジョン研究センター 准教授 「プラチナ社会」総括寄付講座 代表	野依 良治	独立行政法人理化学研究所 理事長(ノーベル賞受賞者)
隈 研吾	東京大学教授 建築家	長谷川 眞理子	総合研究大学院大学 学長
黒川 清	政策研究大学院大学 アカデミックフェロー	原 真人	株式会社朝日新聞社 編集委員
小泉 進次郎	衆議院議員	比屋根 一雄	株式会社三菱総合研究所 AI イノベーション推進室長
甲田 恵子	株式会社 AsMama 代表取締役 CEO	松尾 邦弘	元検事総長
小西 龍治	プラチナ構想ネットワーク特別会員 立命館アジア太平洋大学院 客員教授	松宮 亮二	津軽金山焼窯元
小宮山 宏	当会会長 東京大学第 28 代総長	御手洗 瑞子	株式会社気仙沼ニッティング 代表取締役社長
佐々木 則夫	プロサッカー指導者	村山 斉	カリフォルニア大学バークレー校 教授 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構長
佐藤 勝彦	東京大学 名誉教授 日本学術振興会 学術システム研究センター 所長	山崎 直子	宇宙飛行士
徐 夢荷	株式会社花まるラボ グローバルマーケティングディレクター 小松サマースクール 代表理事	山田 メユミ	株式会社アイスタイル 取締役
白川 方明	前日本銀行総裁 青山学院大学 国際政治経済学部 特別招聘教授	山戸 昌子	トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 環境部 部長
		山本 邦山	尺八奏者(人間国宝)
		ラーシュ・ヴァリエ	駐日スウェーデン大使
		若田 光一	JAXA 理事 宇宙飛行士
		涌井 史郎(雅之)	東京都市大学 特別教授

### ■ 講 師



前日本銀行総裁 青山学院大学  
国際政治経済学部 特別招聘教授  
白川 方明氏



トヨタ自動車株式会社  
先進技術開発カンパニー 環境部 部長  
山戸 昌子氏



株式会社アイスタイル  
取締役  
山田 メユミ氏



公益財団法人川崎市産業振興財団  
ナノ医療イノベーションセンター センター長  
片岡 一則氏

## プラチナ未来人財育成塾@【自治体】

対象：中学生、他

会員自治体からの要請に応え、自治体内の中学生・高校生を対象とした人財育成事業を開催します。

当会からは講師陣の紹介や運営ノウハウを提供。その地域の教育方針、事業目的に合わせて具体的なカリキュラム等の検討を協力します。



「森の学校・きくち」2020年2月開催

### ● プラチナ 2019 年度「森の学校・きくち」

主 催…熊本県菊池市教育委員会  
協 力…プラチナ構想ネットワーク、日本財団学生ボランティアセンター  
開催日程…2020年 2月 22日(土)～24日(月)  
開催場所…熊本県立菊池少年自然の家  
参 加 者…市内中学生(39 名)、市内高校生(8 名)、全国の大学生ボランティア(8 名)

講 師(※所属肩書は開催時点 50 音順・敬称略)  
菊池 康紀(東京大学 未来ビジョン研究センター 准教授)  
倉阪 秀史(千葉大学大学院 社会科学研究院 教授)  
平石 和昭(プラチナ構想ネットワーク 事務局長)  
宮本 大輔(水源林研グループ)  
宮本 廣親(水源林研グループ 会長)  
山川 俊貴(熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授)

これまでの人財育成事業の活動

エネルギースクール@【自治体】

スクール修了生合宿

# プラチナ社会実現のために 具体的な活動を進めていく

テーマを絞り、課題解決のための調査・議論・視察等、イノベーション実装に向けた活動を行っています。



## ワーキンググループ(WG)・プロジェクト(PJ)

### 水素活用 WG

水素エネルギーを用いた新技術による地域の省エネ・低炭素化の推進、地域住民の利便性向上などを実現するため、「まちづくり」において水素エネルギーを最適に活用する具体的な方策を検討しています。



#### 概 要

2014年度(2014年8月～2015年7月)は、水素ステーションの設置に関する諸課題の抽出およびその解決策の検討を行いました。2015年度以降は、将来の水素需要創出につながる活動やアイデアを広く議論することを目指し、CO2フリー水素エネルギーの「地産地消」構想をテーマに、省エネ・低炭素化の推進、また災害に強い地域づくりや経済活性化にも資する水素活用について検討をしています。

#### 体 制

**主 査** 安藤 晴彦氏(電気通信大学 客員教授、独立行政法人経済産業研究所(RIETI) 理事)  
丸田 昭輝氏(株式会社テクノバ エネルギー・水素グループ グループマネージャー)

**メンバー** 会員、その他関係者からの推薦団体および個人

**事務局** JXリサーチ株式会社  
プラチナ構想ネットワーク



#### 〈開催履歴〉

テーマ：「各自治体における地産地消の水素社会構想」の可能性

#### ● 第8回 WG (2019年2月20日(水))

##### I 「水素社会の実現に向けた経済産業省の取組」

江澤 正名氏(経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギーシステム課長)

##### II 「中国における水素・燃料電池の動向」

大川 龍郎氏(新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 北京事務所長)

#### ● 第9回 WG (2019年6月12日(水))

##### I 「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略」

間島 哲也氏(川崎市 臨海部国際戦略本部 臨海部事業推進部 担当課長)

##### II 「産総研福島再生可能エネルギー研究所での水素関連技術開発と復興への取組」

古谷 博秀氏(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 再生可能エネルギー研究センター 研究センター長)

#### ● 第10回 WG (2019年11月12日(火))

##### I 「途上国での再エネ水素の利活用の可能性」

丸田 昭輝氏(株式会社テクノバ エネルギー・水素グループ グループマネージャー)

##### II 「家畜ふん尿由来水素を活用した水素サプライチェーン実証事業の取組」

八村 幸一氏(鹿島建設株式会社 環境本部 プロジェクト開発グループ グループ長)

##### III 「山口県周南市における水素利活用の取組 ～水素エネルギーで未来を拓く～」

村林 康彦氏(山口県周南市 経済産業部 商工振興課 企業活動戦略室 室長)

##### IV 「東芝の水素社会実現に向けた取組」

小川 雅弘氏(東芝エネルギーシステムズ株式会社 水素エネルギー事業統括部 事業開発部 部長)

## プラチナ未来スクール PJ

プラチナ社会の実装モデルの例として、アクティブシニアが地域の子どもたちにプログラミングや英語、社会経験などを教える「プラチナ未来スクール」を展開します。

このPJは、シニアの社会参加を促進するプロジェクトであり、企業・大学・自治体が場を提供し、物品や人財を供給することで支援する「産官民学連携モデル」です。運営には学生スタッフも参加し「多世代交流」の場とします。



### 開催実績

#### ● ロボット教室

2016年10月～ 東京大学教室トライアル  
 2016年11月～ 長崎大学教室トライアル  
 2017年5月～ 長崎大学教室本開校  
 2017年9月～ みなとみらい教室本開校  
 2018年5月～ 柏教室本開校  
 2018年9月～ 横浜国立大学教室本開校  
 2019年1月～ 取手教室本開校  
 2019年4月～ 武蔵野大学高等学校

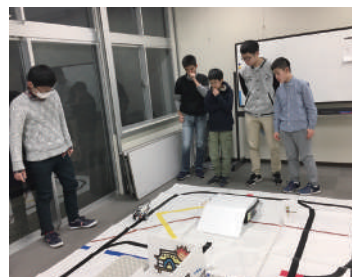
#### ● 各地域での1日体験教室

2017年7月 みなとみらい  
 2018年3月 みなとみらい、取手  
 2018年5月 柏  
 2018年6月 横浜国立大学  
 2018年7月 川崎市(新百合ヶ丘)  
 2019年1月 取手

#### ● 法人会員のファミリーデー

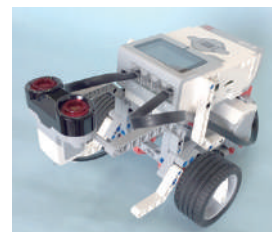
2018年7月 三菱総合研究所

各地域などでニーズに合わせロボット教室を開催しています。



### 体制

**主催** プラチナ構想ネットワーク  
**主催協力** 長崎大学 地方創生推進本部  
 取手市 教育委員会  
**後援会員** 三菱重工業株式会社  
 長崎市 横浜市 柏市 取手市  
**協力** 長崎大学 ロボットサークル  
 三菱みなとみらい技術館  
 横浜国立大学 校友会、Robo+ism  
 東京理科大学 ロボットクリエイターズ  
 ネクスファ  
**運営** プラチナ未来スクール



レゴ社とマサチューセッツ工科大学が共同開発した教育版レゴ®マインドストーム® EV3を使用

プラチナ未来スクール  
アクティビティレポート

## プラチナ森林フル活用PJ

本プロジェクトでは、森林資源をフルに活用する方向のもと、民間事業の立ち上げと経営についての基礎フレームを作成するとともに、関係者との具体的な連携方法や行政の支援策について検討しています。

### 体制

座長	久保山 裕史氏 (森林総合研究所、東京大学アジア生物資源環境研究センター 准教授)
副座長	高田 克彦氏 (秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授)
メンバー	会員
事務局	プラチナ構想ネットワーク 株式会社アルファフォーラム



グループワーク

## プラチナ・ツーリズム推進会議

全国の自治体や企業における「プラチナ社会」の実現に向けた先駆的・実践的な様々な取組は、課題解決先進国、日本が世界に誇る「プラチナ資源」です。これらの「プラチナ資源」を一般的な観光ではなく視察や研修を目的とした新たな観光のテーマと捉えて「プラチナ・ツーリズム」として提案し、新たな訪日マーケットの創出、外国人旅行者の誘致、地域の活性化などを目指します。

### 体制

座長	雀部 優氏 (株式会社三井不動産ホテルマネジメント 代表取締役社長)
メンバー	会員
事務局	プラチナ構想ネットワーク



プラチナ・ツーリズム ホームページ

<http://www.platinum-network.jp/pt-tourism/jp/>

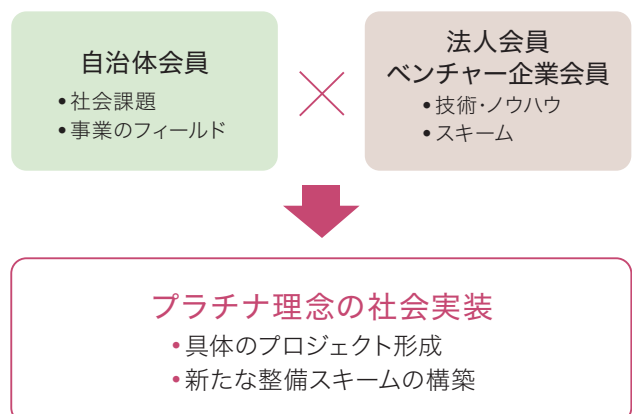
## プラチナ会員連携支援PJ

技術・ノウハウを持った法人会員・ベンチャー企業会員とフィールドを持った自治体会員を結びつけ、社会課題解決に向けたプロジェクトの実現を支援します。具体的な支援活動は以下の3点です。

- (1) 会員専用ページの会員連携支援サイトに会員から提案いただいた情報を掲載
- (2) 事務局メンバーによる会員訪問の際に、提案内容を紹介し、関心のある会員とのマッチングを実施
- (3) 毎月のプラチナ懇談会で、事務局から提案を出席者(首長、経営者)向けに紹介

開始1年間で9件の提案があり、約30件のマッチングが実現しています。

事業展開に向けたフィールドや事業パートナーを求めている法人会員・ベンチャー企業会員、社会課題解決に向けた事業や研究会への参加企業を求めている自治体会員の積極的な活用を促します。



## プラチナマイスター® 事業

本事業は、プラチナ社会を理解し課題解決力を有する人財をプラチナマイスター®として育成・認定し、認定後は個々の経験も活かして様々な活動に参画してもらうことを通じてプラチナ社会実現を促進しようとするものです。

当会から独立した組織である「株式会社プラチナマイスター」(2018年11月設立)が事業主体となり、当会では監督・助言および側面支援を行っています。

〈プラチナマイスターの活躍イメージ〉

教育分野(ロボット教室講師、グループ学習ファシリテーターなど)、起業による社会課題解決、団体向けSDGsコンサルティング など



\*「プラチナマイスター®」はプラチナ構想ネットワークの登録商標です。

## つなげよう、支えよう森里川海WG

戦後の日本の経済成長の過程において失われてきた「森」「里」「川」「海」のつながりと、自然資本ストックの毀損を取り戻すこと、その本来的生態系サービスの恵みを引き出しながら、将来の子どもたちや次世代企業が豊かな森・里・川・海を享受できる「プラチナ社会」の実現を目標としています。

先行事例を知り、自然資本経営の観点で、環境省との連携も図りながら、全国の自治体と法人を会員とする当会会員ネットワークを活用した具体的なプロジェクト(新たなビジネスモデル等)への参画・創造を目指します。

### 体制

主 査	武内 和彦氏 (東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授、 公益財団法人地球環境戦略研究機関 理事長)
オーガナイザー	吉澤 保幸氏 (一般社団法人 場所文化フォーラム 名誉理事)
オブザーバー	環境省
メンバー	会員、その他顧問・オーガナイザー・オブザーバーからの推薦団体・個人 等
事務局	プラチナ構想ネットワーク

## 東京大学総括プロジェクト機構 「プラチナ社会」総括寄付講座

(2012年4月に第1期として企業5社により総長室に設置、  
2015年からは6社の寄付により活動。2017年4月からは  
第II期として企業6社の寄付により活動中。)

「プラチナ社会」総括寄付講座は、東京大学において部局横断的に活動を展開することを目的とする総括プロジェクト機構に設置されています。本講座では特に、環境・エネルギー、健康・医療、地方創生等の課題を解決する「プラチナ社会」を実現するための、理論的背景の整理、知の構造化による課題解決のフレームワークづくり、普及展開方策等に関する研究を行っています。

最先端技術の社会実装に資する各種技術システム設計・評価に加え、具体的な地域における実装の実践を行っています。地域としては、種子島や岩手県、山形県、和歌山県など、広がりを見せており、他大学の研究者も巻き込んだ、研究者ネットワークのハブとして機能しはじめています。

代表: 大久保 達也 教授(プラチナ構想ネットワーク 特別会員)  
菊池 康紀 准教授

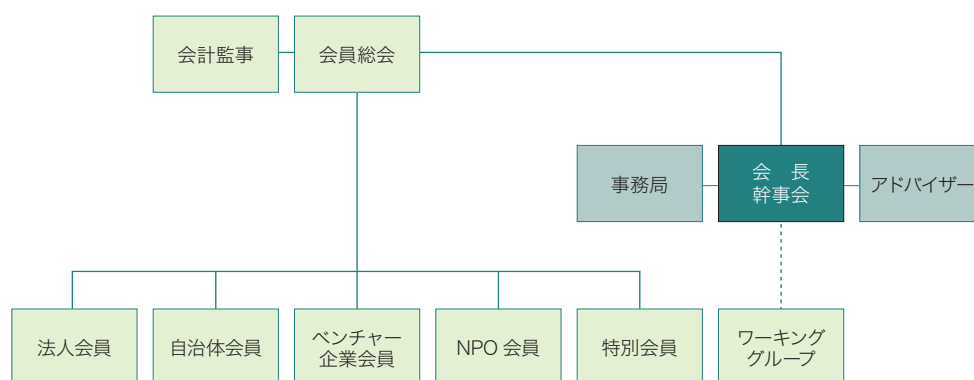


## これまでのWG・PJ活動

農業 WG                      女性の活躍 WG  
健康・医療 WG              社会参加 WG  
地域実態指標 WG          スマート林業 WG  
省エネ機器普及促進 WG   健康経営 WG  
スマートコミュニティ WG  
ゼロ・エミッション・スクール WG  
電気代そのまま払い PJ

## 会 員 名 簿

組織図



法人会員	79名
自治体会員	178名
┌ 都道府県	28名
└ 市町村	150名(うち政令市9)
ベンチャー企業会員	24名
特別会員	73名
海外会員	7名
合 計	361名

(2020年4月)

## プラチナ構想ネットワーク 幹事会一覧 (2020年4月)

### 会 長

小宮山 宏 株式会社三菱総合研究所 理事長、東京大学 第28代総長

### 幹事長

岩沙 弘道 三井不動産株式会社 代表取締役会長

### 副幹事長

秋山 弘子 東京大学 名誉教授、一般社団法人 高齢社会共創センター センター長

麻生 渡 学校法人 福岡工業大学 最高顧問、前福岡県知事

神藏 孝之 イマジニア株式会社 取締役会長 ファウンダー

村上 周三 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長

森 雅志 富山市長

### 幹 事

安藤 忠雄 安藤忠雄建築研究所 建築家、東京大学 名誉教授

飯泉 嘉門 徳島県知事、全国知事会長

石村 和彦 AGC 株式会社 取締役会長

内山田 竹志 トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長

岡村 正 株式会社東芝 名誉顧問、日本商工会議所 名誉会頭

金川 千尋 信越化学工業株式会社 代表取締役会長

北橋 健治 北九州市長

隈 研吾 隈研吾建築都市設計事務所 主宰、東京大学 教授

小林 喜光 株式会社三菱ケミカルホールディングス 取締役会長

杉山 博孝 三菱地所株式会社 取締役会長

富田 哲郎 東日本旅客鉄道株式会社 取締役会長

長榮 周作 パナソニック株式会社 取締役会長

永野 広作 株式会社カネカ エグゼクティブ・フェロー

中村 満義 鹿島建設株式会社 代表取締役会長

増田 寛也 東京大学公共政策大学院 客員教授

松島 克守 一般社団法人 俯瞰工学研究所 代表理事

南 直哉 一般財団法人 地球産業文化研究所 理事長

三村 申吾 青森県知事

宮本 洋一 清水建設株式会社 代表取締役会長

山田 興一 国立研究開発法人 科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター 研究顧問

山田 匡通 株式会社イトーキ 代表取締役会長

横山 禎徳 株式会社イグレック SSDI 代表取締役

吉川 洋 立正大学 学長、東京大学 名誉教授

以上 会長1名、幹事29名／計30名

## 法人会員 (社名 50 音順)

会津土建株式会社  
株式会社秋田銀行  
旭化成株式会社  
味の素株式会社  
飯田グループホールディングス株式会社  
株式会社イトーキ  
イマジニア株式会社  
ANA ホールディングス株式会社  
AGC 株式会社  
株式会社 SMBC 信託銀行  
株式会社 FFG ビジネスコンサルティング  
株式会社大分銀行  
大阪ガス株式会社  
鹿島建設株式会社  
株式会社カネカ  
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社  
関西電力株式会社  
キッコーマン株式会社  
九州旅客鉄道株式会社  
株式会社クボタ  
株式会社熊谷組  
株式会社小松製作所  
JXTG ホールディングス株式会社  
株式会社シェルター  
シスメックス株式会社  
清水建設株式会社  
信越化学工業株式会社  
株式会社ストライプインターナショナル  
住友化学株式会社  
住友林業株式会社  
株式会社正興電機製作所  
西濃運輸株式会社  
積水ハウス株式会社  
株式会社染めQテクノロジー  
第一生命保険株式会社  
大成建設株式会社  
株式会社大和証券グループ本社  
大和ハウス工業株式会社  
財団法人台湾金融研習院  
(Taiwan Academy of Banking and Finance)

株式会社タカギ  
中外製薬株式会社  
中国木材株式会社  
DMG 森精機株式会社  
株式会社デンソー  
東急株式会社  
株式会社東芝  
東レ株式会社  
戸田建設株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
西日本旅客鉄道株式会社  
ニチハ株式会社  
日本電信電話株式会社  
日本郵便株式会社  
ハイアス・アンド・カンパニー株式会社  
株式会社博報堂 DY ホールディングス  
パナソニック株式会社  
阪急電鉄株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社  
備前自動車教習所  
株式会社福岡銀行  
株式会社ベネッセ  
株式会社北都銀行  
株式会社堀場製作所  
株式会社前川製作所  
株式会社みずほフィナンシャルグループ  
株式会社三井住友銀行  
三井不動産株式会社  
株式会社三菱ケミカルホールディングス  
三菱地所株式会社  
三菱重工業株式会社  
三菱商事株式会社  
株式会社三菱総合研究所  
三菱電機株式会社  
株式会社三菱UFJ銀行  
株式会社ミライト・テクノロジーズ  
山一興産株式会社  
株式会社山口銀行  
ヤマトホールディングス株式会社  
株式会社リクルート

以上 法人会員79社

## 自治体会員（敬称略）

北海道	留萌市長	中西	俊司
	稚内市長	工藤	広
	滝川市長	前田	康吉
	帯広市長	米沢	則寿
	二セコ町長	片山	健也
	下川町長	谷	一之
	上士幌町長	竹中	貢
	更別村長	西山	猛
青森県	大樹町長	酒森	正人
	青森県知事	三村	申吾
岩手県	岩手県知事	達増	拓也
	花巻市長	上田	東一
	遠野市長	本田	敏秋
	一関市長	勝部	修
	二戸市長	藤原	淳
宮城県	宮城県知事	村井	嘉浩
	栗原市長	千葉	健司
	東松島市長	渥美	巖
	大崎市長	伊藤	康志
	富谷市長	若生	裕俊
	南三陸町長	佐藤	仁
	七ヶ宿町長	小関	幸一
秋田県	秋田県知事	佐竹	敬久
	秋田市長	穂積	志
	大仙市長	老松	博行
	大潟村長	高橋	浩人
山形県	山形県知事	吉村	美栄子
	最上町長	高橋	重美
	飯豊町長	後藤	幸平
福島県	会津若松市長	室井	照平
	伊達市長	須田	博行
茨城県	日立市長	小川	春樹
	笠間市長	山口	伸樹
	取手市長	藤井	信吾
	つくば市長	五十嵐	立青
栃木県	栃木県知事	福田	富一
	宇都宮市長	佐藤	栄一
	足利市長	和泉	聡
	栃木市長	大川	秀子
群馬県	富岡市長	榎本	義法
埼玉県	埼玉県知事	大野	元裕
	さいたま市長	清水	勇人
	所沢市長	藤本	正人
	本庄市長	吉田	信解
	春日部市長	石川	良三
	戸田市長	菅原	文仁
	鳩山町長	小峰	孝雄

千葉県	館山市長	金丸	謙一
	松戸市長	本郷谷	健次
	柏市長	秋山	浩保
	流山市長	井崎	義治
	いすみ市長	太田	洋
東京都	東京都知事	小池	百合子
	新宿区長	吉住	健一
	文京区長	成澤	廣修
	江東区長	山崎	孝明
	目黒区長	青木	英二
	大田区長	松原	忠義
	世田谷区長	保坂	展人
	中野区長	酒井	直人
	荒川区長、特別区長会会長	西川	太一郎
	板橋区長	坂本	健
	足立区長	近藤	やよい
	葛飾区長	青木	克徳
	江戸川区長	斉藤	猛
神奈川県	立川市長	清水	庄平
	神奈川県知事	黒岩	祐治
	横浜市長	林	文子
	川崎市長	福田	紀彦
	鎌倉市長	松尾	崇
新潟県	藤沢市長	鈴木	恒夫
	見附市長	久住	時男
	佐渡市長	三浦	基裕
富山県	富山県知事	石井	隆一
	富山市長	森	雅志
	高岡市長	高橋	正樹
	南砺市長	田中	幹夫
石川県	小松市長	和田	愼司
	珠洲市長	泉谷	満寿裕
福井県	福井県知事	杉本	達治
	高浜町長	野瀬	豊
山梨県	都留市長	堀内	富久
	北杜市長	渡辺	英子
長野県	長野県知事	阿部	守一
	長野市長	加藤	久雄
	松本市長	菅谷	昭
	飯田市長	牧野	光朗
	飯山市長	足立	正則
	千曲市長	岡田	昭雄
	軽井沢町長	藤巻	進
	高森町長	壬生	照玄
	野沢温泉村長	富井	俊雄

岐阜県	岐阜県知事	古田	肇
	岐阜市長	柴橋	正直
	飛騨市長	都竹	淳也
	関市長	尾関	健治
静岡県	浜松市長	鈴木	康友
	南伊豆町長	岡部	克仁
愛知県	愛知県知事	大村	秀章
	一宮市長	中野	正康
	豊田市長	太田	稔彦
	知立市長	林	郁男
	高浜市長	吉岡	初浩
三重県	桑名市長	伊藤	徳宇
	伊賀市長	岡本	栄
	玉城町長	辻村	修一
	南伊勢町長	小山	巧
滋賀県	東近江市長	小椋	正清
京都府	京都府知事	西脇	隆俊
	京都市長	門川	大作
大阪府	堺市長	永藤	英機
	東大阪市長	野田	義和
兵庫県	兵庫県知事	井戸	敏三
	神戸市長	久元	喜造
	洲本市長	竹内	通弘
	豊岡市長	中貝	宗治
	加西市長	西村	和平
	養父市長	広瀬	栄
奈良県	下市町長	杵本	龍昭
和歌山県	和歌山県知事	仁坂	吉伸
	有田市長	望月	良男
	有田川町長	中山	正隆
鳥取県	鳥取県知事	平井	伸治
	米子市長	伊木	隆司
	琴浦町長	小松	弘明
島根県	島根県知事	丸山	達也
	出雲市長	長岡	秀人
	益田市長	山本	浩章
	雲南市長	速水	雄一
	海士町長	大江	和彦
岡山県	岡山県知事	伊原木	隆太
	備前市長	田原	隆雄
	真庭市長	太田	昇
広島県	広島県知事	湯崎	英彦
	呉市長	新原	芳明
	福山市長	枝廣	直幹

山口県	山口市長	渡辺	純忠
	美祢市長	西岡	晃
	周防大島町長	椎木	巧
徳島県	徳島県知事、全国知事会長	飯泉	嘉門
	徳島市長	遠藤	彰良
	上勝町長	花本	靖
	神山町長	後藤	正和
香川県	香川県知事	浜田	恵造
	高松市長	大西	秀人
愛媛県	西条市長	玉井	敏久
高知県	高知県知事	濱田	省司
	高知市長	岡崎	誠也
	越知町長	小田	保行
	黒潮町長	大西	勝也
福岡県	福岡県知事	小川	洋
	北九州市長	北橋	健治
	福岡市長	高島	宗一郎
	久留米市長	大久保	勉
	飯塚市長	片峯	誠
	小郡市長	加地	良光
	古賀市長	田辺	一城
	みやま市長	松嶋	盛人
	久山町長	久芳	菊司
	添田町長	寺西	明男
佐賀県	みやこ町長	井上	幸春
	多久市長	横尾	俊彦
長崎県	長崎市長	田上	富久
	佐世保市長	朝長	則男
	壱岐市長	白川	博一
	雲仙市長	金澤	秀三郎
熊本県	熊本県知事	蒲島	郁夫
	菊池市長	江頭	実
大分県	大分県知事	広瀬	勝貞
	大分市長	佐藤	樹一郎
宮崎県	都城市長	池田	宜永
	小林市長	宮原	義久
鹿児島県	鹿児島市長	森	博幸
	西之表市長	八板	俊輔
	いちき串木野市長	田畑	誠一
	中種子町長	田淵川	寿広
	南種子町長	小園	裕康

以上 自治体会員178名

**ベンチャー企業会員** (50 音順・敬称略)

株式会社アルファフォーラム	代表取締役社長	小林	靖尚
株式会社 OAG	代表取締役	太田	孝昭
株式会社キャリアデベロップメント・アンド・クリエイション	代表取締役 CEO	和氣	忠
株式会社グッドバンカー	代表取締役社長	筑紫	みづえ
さくら共同法律事務所	所長 弁護士	河合	弘之
さくら共同法律事務所	弁護士	荒竹	純一
サスティナブルエネルギー開発株式会社	代表取締役社長	光山	昌浩
一般社団法人 里海イニシアティブ	代表理事	小笠原	伸一
サニーライブホールディングス株式会社	代表取締役社長	中村	正治
小豆島ヘルシーランド株式会社	代表取締役社長	柳生	敏宏
株式会社ゼロイン	代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO	大條	充能
株式会社セントグランデ W	代表取締役	嶋屋	宏則
株式会社ダイセキ環境ソリューション	代表取締役社長	二宮	利彦
株式会社テクノロジー One	代表取締役	押野	一郎
一般社団法人 熱中学園	代表理事	堀田	一芙
株式会社 拓	代表取締役社長	元木	寅雄
株式会社 HIROTSU バイオサイエンス	代表取締役	広津	崇亮
株式会社ヒューマノーム研究所	代表取締役社長	瀬々	潤
ブランテック・インターナショナル株式会社	代表取締役社長	廣兼	美雄
株式会社プロGRESS	代表取締役	亀田谷	政秀
三宅坂総合法律事務所	弁護士	山岸	洋
株式会社妙高ガーデン	代表取締役	山下	光明
株式会社メディアリンク	代表取締役	久保田	了司
一般社団法人リファイン就労支援センター	代表理事	井田	高志

以上 ベンチャー企業会員24名

**特別会員** (50 音順・敬称略)

秋山 弘子	東京大学 名誉教授、一般社団法人 高齢社会共創センター センター長
浅島 誠	日本学術振興会 顧問、帝京大学 特任教授、東京大学 名誉教授（前副学長）
浅原 利正	前広島大学長
東 大輔	久留米工業大学 教授、インテリジェント・モビリティ研究所 所長
麻生 渡	学校法人 福岡工業大学 最高顧問、前福岡県知事
天野 浩	名古屋大学 特別教授 工学博士、未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター長
有馬 利男	一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 代表理事
安 昌寿	株式会社 MA パートナース 代表取締役会長
安藤 忠雄	安藤忠雄建築研究所 建築家、東京大学 名誉教授
池田 駿介	一般社団法人 公正研究推進協会 専務理事
石戸 奈々子	一般社団法人 超教育協会 理事長、慶應義塾大学 教授
井上 明久	東北大学 総長特別顧問
伊原 学	東京工業大学 物質理工学院 教授
上田 清司	参議院議員、前埼玉県知事
枝廣 淳子	有限会社イーズ 代表取締役
大久保 達也	東京大学 大学院工学系研究科長・「プラチナ社会」総括寄付講座 教授
大田 弘子	政策研究大学院大学 教授
大田 昌博	前道志村長
大西 昭郎	東京大学公共政策大学院 客員教授
角森 輝美	福岡看護大学 地域・在宅看護部門 教授
笠松 和市	持続可能な美しい中山集落再生会 事務局長、日亜ふるさと振興財団 評議員
嘉治 佐保子	慶應義塾大学 経済学部 教授

梶谷	誠	電気通信大学 学長顧問
梶山	千里	公立大学法人 福岡女子大学 理事長・学長
神藏	孝之	イマジニア株式会社 代表取締役会長 ファウンダー
苅田	吉夫	株式会社帝国ホテル 特別顧問
北岡	伸一	独立行政法人 国際協力機構（JICA）理事長
久間	和生	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事長
隈	研吾	隈研吾建築都市設計事務所 主宰、東京大学 教授
河野	茂	長崎大学 学長
後藤	博信	一般社団法人 置賜自給圏推進機構 副代表理事
小西	龍治	立命館アジア太平洋大学大学院 経営管理研究科 客員教授
相良	祐輔	高知大学 名誉教授、先端医療学推進センター 名誉センター長
島田	晴雄	公立大学法人 首都大学東京 理事長
杉田	亮毅	株式会社日本経済新聞社 参与
住	明正	理学博士、東京大学 名誉教授、東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授
清家	篤	日本私立学校振興・共済事業団 理事長、慶應義塾学事顧問（前塾長）
関根	秀昭	株式会社ユーディット 代表取締役社長
武内	和彦	東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授、公益財団法人 地球環境戦略研究機関 理事長
田中	俊之	大正大学 心理社会学部 人間科学科 准教授
田中	義人	長崎総合科学大学 新技術創成研究所 所長
豊重	哲郎	鹿屋市串良町自治公民館 館長
永井	良三	自治医科大学 学長
中川	暢三	兵庫総合研究所 政策顧問（前大阪市北区長、前加西市長）
中路	重之	弘前大学大学院 医学研究科 特任教授
中谷	幸俊	IT バリューアソシエイツ株式会社 代表取締役
西田	治子	オフィス・フロネシス 代表、一般社団法人 Women Help Women 代表理事
西脇	文男	環境エコノミスト・武蔵野大学 客員教授
野澤	日出夫	特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて 代表理事
野地	澄晴	徳島大学 学長
濱田	純一	東京大学 前総長
林田	収二	古河電気工業株式会社 顧問
平尾	勇	株式会社地域経営プラチナ研究所 代表取締役
細田	満和子	星槎大学 副学長
本田	由紀	東京大学大学院 教育学研究科 教授
前田	佳宏	リンカーズ株式会社 代表取締役 CEO
牧野	篤	東京大学大学院 教育学研究科 教授、東京大学 高齢社会総合研究機構 副機構長
牧野	義司	経済ジャーナリスト、メディアオフィス「時代刺激人」代表（元毎日新聞、ロイター通信記者）
増田	寛也	東京大学公共政策大学院 客員教授
松島	克守	一般社団法人 俯瞰工学研究所 代表理事
松宮	亮二	株式会社津軽金山焼 代表取締役
松本	紘	国立研究開発法人 理化学研究所 理事長
松本	洋一郎	東京理科大学 学長
南	直哉	一般財団法人 地球産業文化研究所 理事長
宮本	太郎	中央大学 法学部 教授
村上	周三	一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長
桃井	眞里子	社会福祉法人 桐生療育双葉会 両毛整肢療護園 医務部長、自治医科大学 名誉教授
矢崎	義雄	国際医療福祉大学 総長
山田	興一	国立研究開発法人 科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター 研究顧問
横山	禎徳	株式会社イグレック SSDI 代表取締役
吉川	洋	立正大学 学長、東京大学 名誉教授
吉澤	保幸	一般社団法人 場所文化フォーラム 名誉理事
渡辺	豊博	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島 専務理事

以上 特別会員73名  
（法人会員との重複1名含む）

## 海外会員

イスマイル・トゥファン アクデニズ大学 ジェロントロジー学科長  
 ケネス・ルオブ ポートランド州立大学 教授  
 ジョナサン・フィンク ポートランド州立大学 Research & Strategic Partnerships  
 ダトゥ・アリ・アポン ブルネイ・ダルサラーム国 首相府副大臣  
 ユン テソン 韓国科学技術院 (KAIST) 技術経営研究科 教授  
 ラーシュ・ヴァリエ スウェーデン王国 前駐日スウェーデン大使  
 ラビ・クマー ナンヤン大学 ビジネススクール学長

以上 海外会員7名

## 図書紹介

### 新ビジョン2050

地球温暖化、少子高齢化は克服できる

小宮山 宏、山田 興一 (著)



2016年10月  
日経BP社より出版

英訳版 ▶  
『New Vision 2050』  
2018年5月  
Springer社より出版

21世紀は物質的豊かさを基盤に、質的豊かさを求める100年となります。その具体的な姿は資源自給、自然共生、生涯現役、多様な選択肢、自由な参加を備えた「プラチナ社会」です。

本書は理想論ではなく、科学技術に基づいた2050年のビジョンを提案します。



### プラチナ構想ハンドブック

プラチナ構想委員会 (編著)



2012年1月  
日経BP社より出版

社会のネットワークに必要となる「目標と活動の構造化・知識の共有」を実現するプラットフォーム化を目的に制作しました。事業の推進体制や成功要因を体系的に整理し、他への適用が容易になる構造づくりを推進しています。



書籍の概要と各地から収集した  
先行的事例を掲載  
<http://www.platinum-handbook.jp/>

## 会員向けの情報発信

### マンスリーニュース



2019年1月より、当会の活動状況を、より早く、よりの確に会員の皆様にお届けするため、「マンスリーニュース」を創刊し、毎月1回、会員窓口の方にメールで配信しています。当会ホームページと併せて、ぜひご一読ください。

## プラチナ構想ネットワーク

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3 東急キャピトルタワー 9F

TEL.03-6858-3546 FAX.03-5204-9563

e-mail: [jimuinfo@platinum-network.jp](mailto:jimuinfo@platinum-network.jp)

<http://www.platinum-network.jp/>



プラチナ構想ネットワーク  
ホームページ

2020年4月版

